

抗 Nup62 抗体, ラット モノクローナル (2A11)

商品コード	70-305
容量	200 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養上清から proteinA で精製した
抗原	リコンビナント・ヒト Nup62 (アミノ酸 No. 1-300)タンパク質 (GST-Nup62-His)
アイソタイプ	ラット IgG1 κ
反応性	ヒト、サル。他の種は試していない。
特記事項	エピトープ: アミノ酸 No.1-179 (FG-repeat 領域)
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (60 kDa の単一バンドとして検出) 2. 免疫細胞染色 3. ELISA 他の用途は試されてない。
背景	核膜孔複合体 (NPC : nuclear pore complex) は核膜に隔てられた核質と細胞質との間の物質輸送を司る巨大分子複合体であり、ここを通過して高分子の核-細胞質間輸送が行われている。 Nucleoporin (ヌクレオポリン) は真核細胞における核膜孔複合体の主成分である。Nup (Nucleoporin) 62 は FG-repeat 含有ヌクレオポリンに属し、核膜孔中央の栓構造に局在する。 このタンパク質は核局在化シグナルを持つタンパク質の移行にかかわる importin α/β 複合体と結合する。
Data Link	UniProt P37198
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 70-305 抗 Nup62 抗体、ラットモノクローナル (2A11)

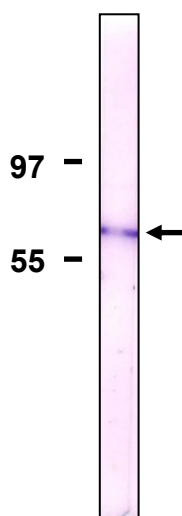


図 1

2A11 抗体を用いたウェスタンブロッティング
による Nup62 の検出

サンプルは HeLa 細胞核膜分画

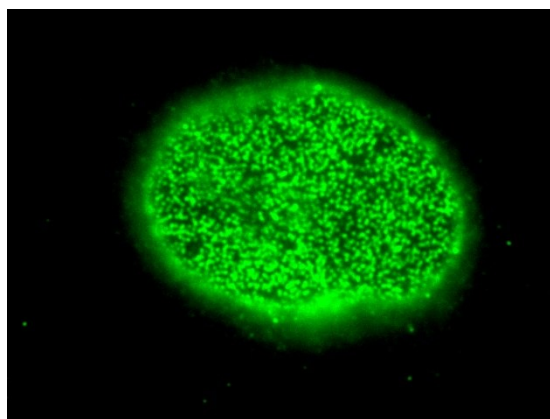


図 2

2A11 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色

この抗体を HeLa 細胞の細胞質に注入すると核膜孔に集
積した。

文献: この抗体は文献 2 において作成され、文献 2、3 において使用された。

1. Hu T *et al* "Molecular and functional characterization of the p62 complex, an assembly of nuclear pore complex glycoproteins." *J Cell Bio* **134**: 589-601 (1996) PMID [8707840](#)
2. Fukuhara T *et al* "Functional analysis of nuclear pore complex protein Nup62/p62 using monoclonal antibodies." *Hybridoma* **25**: 51-59 (2006) PMID [16704304](#)
3. Maeshima K *et al* "Cell-cycle-dependent dynamics of nuclear pores: pore-free islands and lamins." *J Cell Sci* **119**: 4442-4451 (2006) PMID [17074834](#)